

国立大学法人京都大学入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成27年7月2日(木) 京都大学事務本部棟1階ミーティングルーム	
委員	委員長 秋山 明寛 (国立大学法人大阪大学施設部長) 委員 山下 信子 (弁護士) 委員 金 一寿 (公認会計士)	
審議対象期間	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 今回の審議対象期間においては、 再苦情の申立て及び同審議依頼は なし。
建設工事(小計)	6件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定適用対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務(小計)	0件	
公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式	0件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
一般競争入札	0件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回答
<p><b>議事に先立ち、出席者の紹介、京都大学施設担当理事の挨拶</b>  <b>【前回の委員会での議論等を通じて問題提起された事柄について、京都大学側より報告】</b>            (※印は前回の意見等)</p> <p>※低入札価格調査の結果を、以降の同種工事での予定価格の積算に反映させているか。</p> <p>※次回以降、抽出案件の審議において、業者等と接した直接の担当者からも説明等を行っていただくよう、検討願いたい。</p> <p><b>本学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について（報告）</b>  <b>【京都大学側より、平成26年4月から平成27年3月に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について、入札・契約方式ごとに説明・報告】</b></p> <p>・政府調達に関する協定適用対象となる基準額の邦貨換算額の見直しはあったのか。</p> <p><b>建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</b>  <b>【京都大学側より、委員会による抽出経緯の説明】</b></p> <p>・特になし。</p> <p><b>【抽出案件の審議】</b></p> <p><b>建設工事：一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事）</b>  <b>○京都大学（木津川）本館等新営電気設備工事</b></p> <p>・低入札価格の入札者の割合が高くなった要因をどのように考えているか。</p> <p>・1者が入札を辞退しているが、その理由は何か。</p>	<p>・前回「実勢価格で積算可能なものは、反映するように努めている。」と答えているが、低入札価格調査を実施した案件に関わらず、現在、前年度工事の予定価格と契約額との金額差を近畿地区の大学で協力して工種毎に集計・分析し、今年度の予定価格の積算に実勢価格を反映できるように見積査定率の見直しを行っている。</p> <p>・今回、各抽出案件の直接の担当者である、施設部整備課・管理課、医学部附属病院施設系事務室の職員を同席させている。</p> <p>・平成24・25年度は「5億8千万円以上」であったが、平成26・27年度は「6億円以上」に見直されている。</p> <p>・各入札者が主要資材の一括購入などの企業努力を特におこなって入札に臨んだ結果と考えている。</p> <p>・入札辞退者から理由を聞き取りしていないが、本件より先に他の工事の受注が決まり、本件に配置予定であった技術者を配置できなくなった可能性が考えられる。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p>・評価値はどのように算出しているのか。</p> <p>・予定価格の積算方法に問題はなかったか。</p> <p>・競争参加希望者は辞退した1者を除いて京都大学での電気設備工事に実績のある者であったとのことだが、新規参入業者が不利になるようなことはないのか。</p> <p>・分離発注した建築工事や機械設備工事の入札状況はどうであったか。</p> <p><b>建設工事：一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</b>  <b>○京都大学（南部）中央診療棟4階ICU改修電気設備工事</b></p> <p>・再度入札を複数回行った理由は何か。</p> <p>・病院工事の特性を理解のうえ、病院を稼働しながらとなる改修電気設備工事を請け負う業者は、普段何者くらいあるのか。</p> <p>・応札者が1者となった要因をどのように考えているか。</p> <p>・病院工事の特性は予定価格の積算に反映されないのか。</p> <p>・随意契約方式とすることはできなかったのか。</p>	<p>・競争参加希望者より提出された技術提案書等を、競争参加資格等審査委員会で審議のうえ、それに基づき決定された技術評価点を入札金額で除することにより算出している。</p> <p>・予定価格は積算基準に基づき正しく算出したものであるので問題はない。なお、本件は新たに開発された土地での工事であり、周辺を含め既存の建物や学生の往来などがなく、工事用地として広く使え、資材運搬等の作業が比較的スムーズに行えることも、各入札者の入札価格を低廉にした要因の一つではないかと考えているが、それらを予定価格の積算に反映させるのは困難である。</p> <p>・結果的に競争参加希望者は辞退した1者を除き本学での電気設備工事に実績のある者であったが、競争参加資格等の条件が新規参入業者を不利にしているとは考えていない。</p> <p>・建築工事は通常の落札、機械設備工事は低入札価格調査を実施のうえ落札決定している。</p> <p>・本学医学部附属病院にとって重要なICUの拡充事業は、平成27年度当初からの運用開始を目指す計画であったため平成26年度内に工事を完了させることが必要であった。そのことからこの競争入札で落札者を決定したい意向をもって臨んだ結果、2回目の入札でも予定価格の範囲内に達しなかったことから、3回目の入札を行ったものである。</p> <p>・3者程度と思われる。</p> <p>・参加しなかった業者に聞き取りしたところ、参加しなかった理由は、工期が長く工事の難易度も高いため配置予定技術者の確保が難しく、また、粉塵による感染対策などが必要となり採算の取りづらい工事と考えた、とのことであった。</p> <p>・例えば粉塵による感染対策などは予定価格の積算に反映するようしており、積算基準に基づき正しく算出している。</p> <p>・随意契約方式を適用するための要件を満たしていなかったことから、原則である一般競争入札方式としたものである。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p>・病院工事における特殊性と、これまでの予定価格の実績が、応札者を少なくしているとも考えられる。</p> <p><b>○京都大学（桂）ローム記念館大ホール他改修工事</b></p> <p>・不落随意契約とした理由は何か。</p> <p>・1回目の入札時に3者入札辞退しているが、その理由は何か。</p> <p>・工事内容は天井脱落対策改修とのことだが、天井脱落があったのか。</p> <p>・不落となった要因をどのように考えているか。</p> <p>・最も低廉な価格で入札した者との話し合いは主にどのように進めたのか。</p>	<p>・適正な予定価格の積算など、複数者が参加しやすくする環境作りについては、引き続き検討したい。</p> <p>・一般競争での入札者のうち最も低廉な価格で入札した者と話し合ったところ、予定価格の範囲内の見積書を得ることができたためである。</p> <p>・入札辞退者から理由を聞き取りしていないが、本件より先に他の工事の受注が決まり、本件に配置予定であった技術者を配置できなくなった可能性が考えられる。</p> <p>・天井脱落があったわけではなく、本学では建築基準法の改正に伴う特定天井（高さ6m超、面積200㎡超）の耐震化及び脱落対策を進めており、本件はその一環である。</p> <p>・特定天井の制度が施行されてから日が浅く、特に材料の面で市場が確立されていない状況であったことから、応札者による積算と大学側による予定価格の積算に開きが生じたものと考えている。</p> <p>・工事費内訳書を確認のうえ、積算が過大と考えられる箇所や数量が異なる箇所などを指摘するなどして、適正な価格となるよう再度積算を確認いただいた。</p>
<p><b>○京都大学（奈佐原）総合研究棟（旧阿武山観測所本館）改修その他工事</b></p> <p>・低入札価格調査を実施することとなった要因をどのように考えているか。</p> <p>・工事場所は大阪府であるが、競争参加資格の地域要件はどのように設定していたのか。</p> <p>・低入札価格調査を実施した契約であったが、その履行に問題はなかったか。</p>	<p>・当該業者は工事実績を生かして各協力会社から工事に必要な人材・資材等の確保等についての価格低減等の支援を受けたことなどにより、低廉な価格で入札したものであった。</p> <p>・近畿地区内に本店、支店又は営業所が所在する者としている。</p> <p>・設計図書どおり適切に履行され、問題なく工事を完了した。</p>
<p><b>○京都大学（南部）中央診療棟1階SCU他改修機械設備工事</b></p> <p>・応札者が1者の契約となった要因をどのように考えているか。</p>	<p>・参加しなかった業者に聞き取りしたところ、配置予定技術者の確保が困難なため参加しなかった、とのことであった。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p>・先ほど審議した「京都大学（南部）中央診療棟4階I C U改修電気設備工事」は3回目の入札で落札されたのに対して、本件は1回目の入札で落札されている。同じ病院の工事でこのような違いが生じた要因をどのように考えているか。</p> <p>・病院工事の特性を理解のうえ、病院を稼働しながらとなる改修機械設備工事を請け負う業者は、普段何者くらいあるのか。</p> <p>・予定価格はどの時点で公表しているのか。</p> <p>・応札者が1者とならないような手立てを今後一層検討してほしい。</p> <p><b>建設工事：随意契約方式</b>  <b>○京都大学（東小倉）東アジア人文情報学研究センター1階ホール等改修工事</b></p> <p>・契約の性質又は目的により随意契約を行った理由は何か。</p> <p>・漆喰落下を受けての現状調査は、どこが実施したのか。</p> <p>・漆喰が落下しないような方策は図れたのか。</p> <p><b>その他</b>  <b>【京都大学側より、今回の審議対象期間においては再苦情の申立て及び同審議依頼はなかったことを報告、平成28年4月からの任期について引き続き委員再任のお願い、次回開催予定などの説明】</b></p> <p>・特になし。</p> <p><b>【各委員より、全体に関する意見等】</b></p> <p>・今回の議論等を通じて示唆された問題を、今後の入札・契約業務や施工業務に反映させてほしい。</p>	<p>・本件に関しては、本学病院工事の実績がある応札者であったことから、その特性を理解したうえで適切な積算が行われた結果、入札金額と予定価格に大きな金額差が生じなかったのではないかと考えている。</p> <p>・4者程度と思われる。</p> <p>・契約締結後に公表している。</p> <p>・今後、更に検討したい。</p> <p>・本件は、当該建物の天井の漆喰が落下したことを受けて実施した調査の結果、他にも漆喰の浮きが発生しており剥落の危険性があることが判明したことから、早急な対応が必要となったことに加え、当該建物が登録有形文化財であったことから、文化財改修を多く手掛けている当該建物の元施工会社と随意契約を締結したものである。</p> <p>・元施工会社が実施している。文化財建造物は継続保存の必要性があることなどから、結果的に現状調査と改修工事ともに元施工業者に依頼する形となったものである。</p> <p>・調査で判明した結果を踏まえ、改修工事に反映させたことから、危険回避は図られたと考えている。</p> <p>・承知した。</p>

別紙

意見・質問	回答
<p>・次回、ICUなどの工事を施工可能な業者が何者ほどあるのか教えてほしい。例えば全国や近畿地区で何者あるのか、あるいは他大学と京都大学の実績業者数の比較資料などがよい。</p> <p>【京都大学施設部長より挨拶】</p> <p><b>終了</b></p>	<p>・承知した。</p>